

年間目標	(※年間目標の記述はⅠ期より継続) →	
期(月)	Ⅲ期(9月・10月・11月・12月)	Ⅳ期(1月・2月・3月)
ねらい	○生理的欲求を満たし、健康で衛生的な生活を送れるようにする。 ○子どもの気持ちを受け止め、ていねいにかかわることで情緒を安定させて、安心して生活できるようにする。 ○気候や体調に留意しながら戸外遊びや散歩をして自然にふれる機会をたくさん持つようにする。 ○薄着を心がけながらじょうぶな体力作りを目ざして遊ぶ。 ○運動会などの行事にも無理のない内容で参加する。 ○「ジブンデ」の意思が強まるので、気持ちを尊重し、達成感を持たせながら援助をする。 ○リズム運動や、手遊び、歌遊びを楽しみ、言葉の発達を促す。 ○食事・排せつ・睡眠・着脱など身の回りのことを自分でしようとする意欲を育て、生活習慣の自立を促す。 ○聖書、お礼拝に喜んで参加する	○生理的欲求を満たし、健康で衛生的な生活を送れるようにする。 ○子どもの気持ちを受け止め、ていねいにかかわることで情緒を安定させて、安心して生活できるようにする。 ○保育者に支えられながら、できることは何でも自分でしようとする意欲を育てる。 ○して欲しいこと、欲しいものを言葉で伝えようとする気持ちを育てる。 ○簡単なごっこ遊びを通して、保育者の仲立ちのもと友達といっしょに遊ぶ楽しみを経験させる。 ○寒い日でも戸外で元気に遊ぶことを楽しむ。 ○足腰がしっかりして活動的な遊びを楽しみ、ひとつ大きくなる進級への期待感を持てるようにする。 ○聖書、お礼拝に参加して喜んで賛美をする
内容	○ひとりひとりの体調には十分に注意し、気候によっては衣服の調節などを行ない、家庭と連携しながらじょうぶな体作りを目ざす。 ○戸外遊びや散歩は体力的に発育の個人差があることを考慮して、ひとりひとりが十分に楽しめるようにする。 ○押す・引っ張る・登る・降りるなど全身を使う遊びを楽しみ、体の発達を助長する。 ○保育者といっしょに歌や手遊び、リズム遊びを楽しみ、見たてたりつもりになったりが十分に楽しめるように遊ぶ。 ○楽しいことがあると「モウイッカイ」と言って友達と笑い合ったり、繰り返しがんだりするという気持ちを尊重し、いっしょに楽しむ。 ○「イヤ」「ジブンデ」という意思表示を受け止め、しっかり主張できるように応答する。また、その気持ちを満足できるよう達成感が味わえるようにさりげなく介助し、自信につなげていく。 ○聖書、お礼拝(聖書のお話を聞く、お祈りに参加する、讃美歌を歌う)	○安心できる環境の中で「自分でできる」「自分でしたい」意欲が育つように模倣を楽しみ「できた」ことの喜びを共感する。 ○思いどおりにならないことや気に入らないことがあると「自分の気持ち」を譲らない時期であることを考慮して共感・同調を大切に、相手の気持ちを伝えたり子どもの心に寄り添う配慮をしたりして、友達とのかかわり方を根気強く知らせていく。 ○ひとり遊びやつもり遊びを充実させながらも、徐々に友達といっしょに遊ぶ楽しみを経験させる。 ○親しみやすいお話や好きな場面の再現遊びをして、友達と同じイメージを共有できるようにする。 ○楽しみながら言葉が増えていくように伝承遊びを取り入れ、楽しく遊ぶ。 ○手指操作が発達する遊びや歌やリズムに合わせて楽しく遊ぶなど、いろいろな表現の遊びを経験する。 ○気候や体調に留意しながら戸外遊びを楽しむため、日常的に健康状態の把握に努め、保健的、安全配慮に留意する。 ○活動的に遊びや範囲が広がるように異年齢児とのかかわりでは十分に注意しながらも親しみを持って安心して楽しめるよう環境に配慮する。